

No 1093 セネガル相撲

相撲は日本だけのスポーツではない。西アフリカではどのような取り組みの仕方があるか…？



▶ 11分 1984年撮影

No 1094 アフリカ最西端の町 ダカール

小さなパリと呼ばれるダカール。歴史に富んだ近代都市にはさまざまな生活の顔がある。



▶ 10分 1984年撮影

No 1095 フルベ族 乾季の生活

西アフリカのセネガルで牛を飼うフルベ族。乾季のサバンナの生活をえがく。



▶ 12分 1984年撮影

No 1096 フルベ族 村の生活

フルベ族はアフリカ・セネガルの牧畜民。乾季には水をもとめて牛とともに移動する。



▶ 13分 1984年撮影

No 1097 フルベ族の家畜と水

サバンナでは「水」はたいせつなもの。水をめぐる家畜と人間のくらしをさぐる。



▶ 12分 1984年撮影

No 1122 満たされた器 木の器とフルベ族社会

牧畜民にとって木の容器は貴重な生活用具。「木の器」の売り買いは女性がおこなう。



▶ 15分 1981年撮影

No 1140 サハラの鉄づくり ハウサ族のタマ

紀元前から続く製鉄の伝統は消えさった。今、その再現にいとむ鍛冶屋(かじや)の姿をえがく。



▶ 16分 1981年撮影

No 1471 マルアの町 北カメルーン

北カメルーン・マルアの街とその郊外をおとずれ、フルベの人びとの日常生活の一部を紹介。



▶ 11分 1985年撮影

No 1472 ボゴの王さま 北カメルーン

北カメルーン・ボゴ村の王さまと家臣による騎馬行進は、フルベの人びとの昔の姿をしのぼせる。



▶ 14分 1985年撮影

No 1473 北カメルーンの花嫁

喜びにあふれた16歳の花嫁。持参した花嫁道具や招かれた人びとを紹介する。



▶ 10分 1985年撮影

No 1620 砂漠の水瓶 スイカ

地表水のないカラハリ砂漠で、人と家畜のいのちを支えるスイカ。スイカをめぐるサンの人びとの生活をえがく。



▶ 17分 1999年撮影

No 1621 最後の毒矢狩猟

今では5人のハンターが残るだけになった、伝統的なサン人の毒矢狩猟。昔ながらの狩猟法を記録する。



▶ 12分 1999年撮影

No 1622 ヤギと人との共生

カラハリ砂漠の厳しい自然のなかでヤギを飼うサン人。ヤギとかれらとの関わりをさぐる。



▶ 19分 1999年撮影

No 1623 カラハリ砂漠の「親指ピアノ」

サン人の男たちが演奏する「親指ピアノ」。その製作工程と音色を紹介する。



▶ 16分 1999年撮影

No 1624 カラハリ砂漠の家作り

雨のふらない砂漠ならではの家づくり。一人の女性を中心に、サン人の家づくりをみる。



▶ 18分 1999年撮影

No 1625 ドクターとトランスダンス カラハリ砂漠の伝統治療

夜、病人をあつめ、たき火の回りで踊るドクター。悪霊を追いはらい、病気をなおすサン人の伝統医療をえがく。



▶ 18分 1999年撮影

No 1626 砂漠の新興住宅地

伝統的な村をはなれ、砂漠のなかの新しい村で生き方をさぐるサンの人びと。どのように変わってゆくのだろう。



▶ 19分 1999年撮影

No 1627 カラハリ砂漠のキャンプの一日

サンの人びとは数家族でひとつのキャンプをつくる。協力しながら砂漠で生きぬく、かれらの一日をおう。



▶ 25分 1999年撮影

No 1628 アフリカ最南端の都市 ケープタウン

あらゆる人種が入りまじる都市、ケープタウン。アフリカを代表する大都市の現在のすがたをみる。



▶ 13分 1999年撮影

No 1629 ケープタウンの「スラム」の一日

ケープタウンへ職をもとめてやって来た若夫婦。粗末な小屋に住みながら仕事をさがす、かれらの一日をえがく。



▶ 20分 1999年撮影

No
1630 掘っ建て小屋に暮らす
ケープタウンのスラムから

広がり続けるスラム。さまざまな地方から集まってきた人たちが工夫しながら暮らす様子をえがく。



▶ 17分 1999年撮影

No
1640 アンダルシア音楽
モロッコ

中世のスペインに花開いた、アラブの古典音楽。今もモロッコの人びとに愛されつづける音楽を紹介する。



▶ 13分 2000年撮影

No
1641 アンダルシアの残照
モロッコ・シェフショウエン

ここはイベリア半島を逃れたイスラム教徒がつくった町。スペイン南部の雰囲気色が濃くたどる町を歩く。



▶ 11分 2000年撮影

No
1642 フェズのメディナを歩く
モロッコ

くねくねと細い道、どこまでも続く店と工房。物売りやロバが行きかう、迷路のような狭い通りを歩いてみよう。



▶ 17分 2000年撮影

No
1643 ダカールの染め屋
セネガル共和国

手作業によるろうけつ染めやしぼり染め。工場で量産するプリント。セネガルのファッションを支える染色をみる。



▶ 9分 2000年撮影

No
1644 ジャワラ村
アフリカ・ソニンケの人々

ここは出稼ぎの男たちの仕送りで豊かに暮らす村。仕送りにたよらず暮らせる道をさぐる人びとをえがく。



▶ 15分 2000年撮影

No
1645 ジャワラ村の藍染め
セネガル共和国

ソニンケの人びとが作りだす藍染めの布。母から娘へと伝えられてきた手仕事のわざをみる。



▶ 11分 2000年撮影

No
1651 遊牧ソマリのキャンプの一日

ケニア北東部の遊牧民。3家族が協力しあってラクダやヤギを放牧しながら暮らしている。



▶ 21分 2003年撮影

No
1652 ブッシュからブッシュへ
遊牧ソマリのキャンプの移動

ドーム状の家を解体するのは女性たち。家財道具はすべてラクダに乗せ、水や草を求めて次のキャンプ地へ向かう。



▶ 19分 2003年撮影

No
1653 ラクダを飼う

運搬用や現金収入源として遊牧民ソマリにとって大切なラクダ。その病気は民間療法で治療する。



▶ 18分 2003年撮影

No 1654 ラクダミルク

遊牧民から仲買人を経て、都市の食卓へとのぼるラクダのミルク。遊牧民にとって大切な栄養源・現金収入源である。



▶ 18分 2003年撮影

No 1655 遊牧ソマリの水事情

乾季のガリッサの内陸部では、涸れ川に水はなく、土のくぼみにたまった雨水が人やラクダの命をつなぐ。



▶ 14分 2003年撮影

No 1656 水曜は牛市 ケニア北東州ガリッサの家畜市

今日は水曜日。普段は閑散としている広場に牛やトラックがあふれ、真剣な売買の駆け引きがあちこちで行われる。



▶ 12分 2003年撮影

No 1657 ラクダ肉を美味しく食べる方法

ケニア、ガリッサ。この町に暮らすソマリの女性たちにラクダ肉を使った煮込み料理の作り方をみせてもらった。



▶ 13分 2003年撮影

No 1658 観光都市 ナイロビ

ケニアの首都ナイロビは豊かな自然と野生動物が観光の目玉。今日も大勢の観光客がジラフセンターを訪れる。



▶ 10分 2003年撮影

No 1753 ただいまオンエアー ソニンケ民族の文化運動と地域ラジオ

西アフリカの小さな地域ラジオが開催する文化週間の取材をとおして、多民族の連帯と地域の開発を目指す人びとの運動を紹介します。



▶ 11分 2017年撮影

No 1754 私たちが主演 ソニンケの文化週間を支える女性たち

女性達はラジオ局の先導で小さな経済活動を営んでいます。ラジオ局主催の文化週間は女性グループによる伝統文化の紹介の場です。



▶ 7分 2017年撮影

No 1755 グリオは語る 今と昔をつなぐなりわい

西アフリカのグリオは、昔から歴史や文化など社会の記憶を歌と音楽、踊りで語り継ぐ専門の人びとです。



▶ 8分 2017年撮影

No 1757 王の祭り 仮面の王国マンコン、カメルーン高地

カメルーン高地に現在もその伝統がみられる王政社会の最大の行事は、数年に一度催される、王とともに踊る「王の祭り」である。



▶ 18分 1987,1988年撮影

No 2472 ボゴの王さま 北カメルーン

北カメルーン・ボゴ村の王さまと家臣による騎馬行進は、フルベの人びとの昔の姿をしるばせる。



字幕

▶ 14分 1985年撮影

No
3140

Making Iron in the Desert
The Iron Billets of the Hausa Tribe

Traditional iron-making techniques from before the Christian Era have been fading away. A Hausa blacksmith revives them for our research.



▶ 16min. filmed: 1981

No
3472

Chief Buuba of Bogo Village
Northern Cameroon

A Fulbe chief at Bogo in Northern Cameroon rides on horseback, followed by his retainers. The scene recalls glorious past of the Fulbe people.



▶ 14min. filmed: 1985

No
7005

フルベとラオベ

セネガルの牧畜民フルベと木工職人集団ラオベ。昔も今も、木の器を介してつづく彼らのまじわりをえがく。



研究用映像

▶ 34分 1981年撮影

No
7006

フルベの女

セネガルの小さな村、ゲーリ。その村に住む一人の女性を中心にフルベの人びとの生活を紹介します。



研究用映像

▶ 30分 1981年撮影

No
7007

ラオベの木彫

ラオベと呼ばれる木工師たち。先祖から伝えられた技で木製品をつくるかれらをセネガルで取材した。



研究用映像

▶ 23分 1981年撮影

No
7008

タマ
ハウサ族の鍛冶屋と伝統的製鉄技法

タマとは、ニジェール南部で産出する特別な鉄鉱石からつくりだす鉄のこと。ハウサ族の鍛冶屋が、タマの伝統的なつくり方を再現した。



研究用映像

▶ 58分 1981年撮影

No
7009

ハウサ族の製鉄技法

今では途絶えてしまったハウサ古来の製鉄法。再現された製鉄法をニジェール・アガデス近郊で記録した。



研究用映像

▶ 30分 1981年撮影

No
7010

サハラ砂漠の町アガデス

サハラ縦断道路の中継点アガデス。ウラン開発の基地としてにぎわう町で暮らす人びとを取材した。



研究用映像

▶ 28分 1981年撮影

No
7020

ガウンデレの音楽

カメルーン・ガウンデレで収録した、ムブムの人びとの音楽。フィンガーピアノ、パラフォンの演奏。



研究用映像

▶ 32分 1984年撮影

No
7021

北カメルーンの王さま

王をとりまく勇壮な家臣や宮廷の楽師たち。伝統文化の継承者であり、後援者である「王さま」たちを取材した。



研究用映像

▶ 30分 1984-1985年撮影

No 7022 北カメルーンのフルベ族とひょうたん

楽器、うつわ、装飾品など、ひょうたんをさまざまに利用する人びと。かれらとひょうたんとの関わりをみる。



研究用映像

▶ 29分 1984-1985年撮影

No 7023 ダルガラ楽師たち

フルベの職業的楽師による音楽。カメルーン北部、マルワ近郊のダルガラで収録。



研究用映像

▶ 24分 1985年撮影

No 7024 フルベ族宮廷の音楽 マルワとヨールデーオの金曜日

カメルーン北部マルワとヨールデーオにあるフルベの王宮で演奏される音楽の記録。



研究用映像

▶ 22分 1985年撮影

No 7025 ギルビディック ムスグム族のおどり

カメルーン・ギルビディック村のムスグムの人びとの伝統的な踊りの記録。



研究用映像

▶ 24分 1985年撮影

No 7026 牛飼い歌 ブーバ・ゲルデレ師のうた

牛飼いたちの歌「ダーチョル」をカメルーン北部マルワ近郊のボゴ村で収録。



研究用映像

▶ 12分 1985年撮影

No 7027 ボゴの市場

家畜や日用品、食料品などあらゆるものがそろう市場。カメルーン北部マルワ近郊のボゴ村で取材。



研究用映像

▶ 12分 1984年撮影

No 7028 ボゴの王の謁見式

ボゴ村の王様が、きらびやかな衣装をつけた騎士と騎馬行進する。にぎやかに行われる王の示威行為を記録。



研究用映像

▶ 15分 1984年撮影

No 7030 フルベを追って II 伝統的な移牧の生活

乾季、フルベの牧畜民は水と牧草をもとめてサバンナを移動する。キャンプでの生活をセネガルで記録した。



研究用映像

▶ 33分 1984年撮影

No 7031 ボゴの音楽

カメルーン北部ボゴ村で収録した音楽。この村ではすぐれた芸能音楽を聞くことができる。



研究用映像

▶ 34分 1985年撮影

No 7033 フルベ族・吟遊詩人 1 アーカル師のムボーク詩

盲目の詩人アーカル師がかたる叙事詩「ムボーク」。カメルーン北部マルワで収録。



研究用映像

▶ 19分 1985年撮影

No 7034 フルベ族・吟遊詩人 2 ムバラ師のムボーク詩

当世第一の歌い手ムバラ師がかたる叙事詩「ムボーク」。カメルーン北部ダンバイ村で収録。



研究用映像

▶ 28分 1985年撮影

No 7035 フルベ族・吟遊詩人 3 ダルガラ村王宮前にて

カメルーン北部ダルガラ村で収録した「ムボーク」の朗唱。この地方独特の叙事詩をきく。



研究用映像

▶ 20分 1985年撮影

No 7036 フルベ族・吟遊詩人 4 ボゴのムボーク詩人たち

カメルーン北部ボゴ村で収録した「ムボーク」の朗唱。この付近の歌い手をすべて集め、収録した。



研究用映像

▶ 20分 1985年撮影

No 7037 マルアの街

カメルーン北部マルアに住む人びとの生活を紹介。



研究用映像

▶ 27分 1985年撮影

No 7131 ケープタウンの掘っ建て小屋から

アパートメント廃止以降、拡大するスラム。南アフリカ各地から集まってきた住人たちの前向きに生きる日常を記録した。



研究用映像

▶ 34分 1999年撮影

No 7141 アンダルシア音楽祭 モロッコ・シェフショウエン

アラブ古典音楽から生まれ中世のイベリア半島で花開いたアンダルシア音楽は、今もモロッコなどの北アフリカで生き続けています。



研究用映像

▶ 47分 2000年撮影

No 7142 世界最大の迷路フェズ 1200年前の都市に生きる

迷路のような旧市街と近代的な新市街が共存する、人口32万人の都市フェズ。モロッコの古都の活気ある現在を紹介する。



研究用映像

▶ 29分 2000年撮影

No 7143 アフリカの機織り セネガル・トーゴ・カメルーン

アフリカのセネガル・トーゴ・カメルーンでおこなわれているさまざまな機織りを紹介する。



研究用映像

▶ 33分 2000年撮影

No 7144 着だおれの国 セネガルの衣装

おしゃれなセネガル人の衣生活を支える技術と人。さまざまな織り、染め、仕立てを都会と地方にさぐる。



研究用映像

▶ 25分 2000年撮影

No 7145 ゴレ島 奴隷の島から文化の島へ

ダカールの沖合3kmにある小さな島。博物館を訪ねながら、島の歴史と文化を振りかえる。



研究用映像

▶ 13分 2000年撮影

No 7146 ダカールのガラス絵

セネガルの日常を明るい色彩と独特の構図で描くガラス絵。世界的に有名なモール・ゲイ氏のアトリエから紹介する。



研究用映像

▶ 12分 2000年撮影

No 7147 パリ〜ダカール〜ジャワラ村 セネガル・ソニンケの出稼ぎ社会

ほとんどの成人男性がパリへ出稼ぎに行き、定年まで村との往復を繰り返します。パリで生活する彼らの思いや、村に残った家族の暮らしを紹介します。



研究用映像

▶ 52分 2000年撮影

No 7171 遊牧民に教室を ケニア北東州ガリッサで活動する日本のNGO

ケニア北東州は多くの遊牧民が暮らす地域。日本のNGO活動に注目して、遊牧民にとっての学校教育の意義を問う。



研究用映像

▶ 23分 2003年撮影

No 7172 ファトゥマさんの家 遊牧ソマリの家づくり

ソマリの人びとの家作りは女性の仕事。家は木の枝とヤシの葉で作る組み立て式。



研究用映像

▶ 20分 2003年撮影

No 7173 ラクダの解体場

ラクダ肉はソマリの人びとの栄養源。解体作業は早朝から始まり、毎日ガリッサ市民の食卓に並ぶ。



研究用映像

▶ 19分 2003年撮影

No 7175 ストリート・チルドレン ナイロビの今

ケニア政府は治安回復のため、ストリート・チルドレンの移住にのりだした。最後まで残る子どもたちを通してナイロビの今を見る。



研究用映像

▶ 25分 2003年撮影

No 7177 Life in a Cape Town Shack

After the collapse of Apartheid, slum areas are expanding. This video records the every-day life of the people who migrate from any places of South Africa.



Program for Research

▶ 34min. filmed: 1999

No 7246 ただいまオンエア（研究用） ソニンケ民族の文化運動と地域ラジオ

西アフリカの小さな地域ラジオが開催する文化週間の取材をとおして、多民族の連帯と地域の開発を目指す人びとの運動を紹介します。



研究用映像

▶ 40分 2017年撮影

No 7249 王の祭り 仮面の王国マンコン、カメルーン高地

カメルーン高地に現在もその伝統がみられる王政社会の最大の行事は、数年に一度催される、王とともに踊る「王の祭り」である。



研究用映像

▶ 61分 1987,1988年撮影

No 7251 アシエンダ！エチオピア北部地域社会

アシエンダはエチオピア北部において開催されるお祭りです。はなやかに着飾った若い女性のグループが太鼓をたたきながら家々の軒先で歌い踊ると同時に、道行く人々を祝福します。



研究用映像

▶ 38分 2018年撮影